

三軒寺前フリーマーケットに出店  
春:2023.5.27 秋:2023.11.25

今年度はコロナも5類に移行し、春と秋に三軒寺前フリーマーケットに出店しました。

春は好天に恵まれ16,000円、秋は冷たい風が吹く一日でしたが25,666円の収益でした。これらの収益金は「手作りの小物」の売上金と合わせて「世界寺子屋運動」「世界遺産活動」の支援として、年度末に(公社)日本ユネスコ協会連盟に寄付しました。

たくさんの方が不用品などの販売品を寄贈してくださいました。本当にありがとうございました。



民間ユネスコ運動の日  
2023.7.10

(公社)日本ユネスコ協会連盟は人々にユネスコ運動を広める為に毎年7月19日を「民間ユネスコ運動の日」と定めています。

伊丹ユネスコ協会は4年ぶりに7月10日にJR



伊丹駅周辺で書きそんじハガキ・キャンペーンのパンフレットとポケットティッシュを配りました。道行く人々にユネスコ運動へのご理解とご協力を呼びかけました。

ご協力ありがとうございました。(2023年度)

2024.3.1現在

- ウクライナ子ども支援金(一杯のスプーン) 50,000円
- 能登半島地震災害子ども教育支援金 30,000円
- 世界遺産活動支援金 30,000円
- 世界寺子屋運動支援金 30,000円

新会員紹介

松倉 麻己子さん

ご入会ありがとうございます

寄附のお礼

日本フレックス工業株式会社様から52,043円と尼崎信用金庫伊丹支店様から10,000円の寄附をいただきました。

SDGsや災害子ども教育支援の活動に使わせていただきます。皆様の温かいお気持ちとご厚意を持続可能な社会づくりに活かしていきたいと考えています。

ご支援いただいたことに心より感謝申し上げます。

2023年度 活動の記録

2023年

- 4月 ・日本語教室お花見の会(昆陽池、スワンホール)
- ・伊丹ユネスコ協会40周年記念誌発行
- 5月 ・第42回総会(伊丹アイフォニックホール)
- ・フリーマーケット(三軒寺前広場)
- 6月 ・兵庫県ユネスコ連絡協議会総会(神戸市)
- 7月 ・近畿ユネスコ協議会総会(京都市)
- ・アースデイいたみ(スワンホール)
- ・民間ユネスコ運動の日(JR伊丹駅前)
- ・第1回阪神間ユネスコ協会連絡会(尼崎市)
- 8月 ・第19回平和の鐘 カリヨンコンサート(中止)
- 9月 ・第42回阪神間ユネスコ協会連絡会合同事業(川西市)
- 10月 ・ケーブルTVによる伊丹ユネスコ日本語教室の取材
- 11月 ・バスツアー(神子畑選鉱場跡、但馬安国寺)
- ・近畿ブロックユネスコ活動研究会in飛鳥・橿原
- ・第2回阪神間ユネスコ協会連絡会(伊丹市)
- ・フリーマーケット(三軒寺前広場)
- 12月 ・ウクライナ支援チャリティーコンサート:  
出演 麻樹ゆめみ(東りいたみホール 中ホール)

2024年

- 3月 ・第3回阪神間ユネスコ協会連絡会(川西市)
- ・会報「伊丹ユネスコ」No.75発行
- ・フリーマーケット(三軒寺前広場)(予定)

発行 伊丹ユネスコ協会

事務局 伊丹市同和・人権・平和課

〒664-8503 伊丹市千僧1丁目1番地

TEL 072(784)8148 FAX 072(780)3519

ホームページ <https://www.unesco.or.jp/itami/>

伊丹ユネスコ



2024年3月

No.75

「書きそんじハガキ・キャンペーン」へのご協力に感謝!

世界には、戦争や紛争、貧困、差別など様々な原因で学校に行けない子どもが約2億4400万人、文字の読み書きが出来ない大人が約7億6300万人います。

1989年に開始した「ユネスコ世界寺子屋運動」は、年齢、宗教、性別にかかわらず、すべての人が公平に教育の機会を得られるように、無償で学ぶ機会を応援する活動です。すべての人が質の高い教育を受けられる国際社会の実現を目指して努力を続けています。

伊丹ユネスコ協会では、毎年「書きそんじハガキ・キャンペーン」に取り組んでいます。これは、書き間違いなど様々な理由で投函されなかった未使用ハガキ(古くても)や未使用切手、未使用プリペイドカード、金券などの「タンス遺産」を回収して募金に換えることで、世界寺子屋運動の活動に使わせていただくキャンペーンです。



2023年度はイベント開催時に集めるだけでなく、初めて市内の小・中・特別支援学校へもご協力を呼

びかけました。その結果、例年を大きく上回る実績を上げることが出来、(公社)日本ユネスコ協会連盟を通じて世界寺子屋運動に寄付させていただきました。

北中学校では生徒会が中心となり、年度末に当



北中学校生徒会の皆さんと(伊丹市役所にて)

協会事務局(市役所)まで届けて下さいました。期間が1ヶ月と少なかったにもかかわらず、ハガキが927枚、プリペイドカードもありました。ご協力に心から感謝いたします。

受け渡し式を行い、(公社)日本ユネスコ協会連盟からの感謝状を贈呈いたしました。

当協会では今後もこの活動を続け、世界の学びたくても学べない子どもたちに学習の機会を届ける教育支援を行って参ります。皆様からのご協力をお待ちしています。(通年実施)

□書きそんじハガキ回収BOX設置場所:

市役所5階、同和・人権・平和課の窓口まで  
TEL:072-784-8148

2023年度の実績(2024年1月現在)

ハガキと切手: 222,972円分(手数料を差し引いて)  
テレフォンカード: 50度数×28枚  
収入印紙: 2,000円1枚  
クオカード: 500円分1枚

## ウクライナ支援チャリティーコンサート ～ 麻樹 ゆめみさんを迎えて ～

2023.12.9 東り いたみホール 中ホール

12月に入ったというのに季節はずれの暖かい一日。多くの来場者を迎えてチャリティーコンサートが開かれました。出演者は伊丹市出身の元宝塚歌劇団84期生・麻樹ゆめみさんでした。

第一部のトークショーは、ご自身の生い立ちを話されました。福岡で生まれ育ち、小さい頃からピアノ



に親しみ、お父様のお仕事の関係で大阪へ。そして中学校から伊丹に住んでおられたそうです。

宝塚音楽学校首席入学、その後宝塚歌劇団 雪組の副組長になりました。その頃のエピソードを明るく透き通った声で話され、聴衆も聞き入りました。

休憩をはさんで伊丹ユネスコ協会佐藤会長が、今なお戦時下にあるウクライナへの支援の意義を呼びかけました。

第二部は華やかなドレスに身を包み、宝塚歌劇の歌はもちろん、ミュージカル「モーツァルト」の中の「星から降る金」を優しく歌い上げ、また中森明菜「DESIRE～情熱～」をかつこよく歌うというとても変化にとんだ楽しいコンサートでした。二部の衣装はまるで小麦が実るウクライナの大地をおもわせる黄色だったのも印象的でした。

チャリティーにご協力いただきました出演者をはじめ多くの皆様に心から感謝いたします。



明の後、下から見上げる選鉱場跡はスケールが大きくとても見ごたえのあるものでした。その後、「道の駅ようか」で八鹿豚の定食を美味しくいただきました。

最後に訪れたのが但馬安国寺です。ここは「ドウダンツツジ」の名所ですが、特に今年は110年ぶりとなる本堂の大改修に合わせて、床に黒く塗装した合板が敷かれました。紅のドウダンツツジが床に写り、まるで絵のような光景に思わず「わあ、きれい！」と息を飲みました。兵庫県の中にも、まだ私たちの知らないこのような場所があるんだと改めて驚き、文化遺産を守り続けることの大切さを学んだ1日になりました。

## バスツアーに行きました

2023.11.9 神子畑選鉱場跡

今年度は4年ぶりにバスツアーを再開しました。予報では雨も心配されましたが晴天に恵まれ、参加者30人がアイフォニックホール前からバスに乗り込みました。行き先は、兵庫県朝来市にある神子畑選鉱場跡です。明延鉱山で採掘された鉱石の選鉱場として明治維新を支えましたが、昭和62年に操業を停止し閉鎖となりました。しかし最近の廃墟ブームの中、テレビで紹介



されることもあり人気のスポットとなっています。

地元のガイドさんの丁寧な説



## 第42回 2023年度 伊丹ユネスコ協会総会

2023.5.23 伊丹アイフォニックホール 小ホール

新型コロナウイルス感染症がやや鎮まり、第一部 総会、第二部 ミニコンサートを開催しました。

伊丹市長 藤原保幸様からお祝いのメッセージをいただきました。ご来賓 伊丹市市民自治部長 須磨昭文様が代読、続いてご挨拶と市の政策パンフレット「令和5年度 夢・まちプラン」の説明をされました。

議事：2022年度 事業報告、会計決算報告、会計監査報告はそれぞれ承認され、続いて2023年度 事業計画(案)、事業予算(案)の審議を行い、原案どおり承認されました。ささやかなティータイムを挟んで、第二部は、伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団のメンバー男性1名、女性3名による弦楽四重奏団「和奏(わかな)」の華やかな演奏が行われました。久しぶりの生演奏に心なされたひとときでした。



## 第22回 アースデイいたみ

2023.7.2 スワンホール 多目的ホール

今年のテーマは「海のゴミはどこから～」でした。テーマにそったパネルの展示、体験学習、リサイクルゴミで作る工作などを準備しました。

こどもたちの「アースデイ宣言」から始まり約220名の参加者が楽しくSDGsについて学習しました。最近地球を大切に考える人が増えてきました。(伊丹ユネスコ協会は、伊丹環境ネットワークに所属し活動しています。9月30日 伊丹環境研修 海のゴミ映画会(スワンホール)や10月17日防災研修(兵庫県立 人と防災未来センター)にも参加しました)



## 伊丹 ユネスコ日本語教室がテレビ取材を受ける

2023.10.14 東り いたみホール 大会議室

伊丹市では多文化共生の取り組みの一環として日本語教室を開催しています。伊丹



ケーブルテレビ伊丹市広報番組「伊丹だより」より

ユネスコ日本語教室もその一つです。ここは日本語を学びたい外国人と、日本語ボランティアが交流する場です。10月14日ケーブルテレビ(ベイコム)から、この教室の取材を受けました。当日は、学習者18名、ボランティアは講師を含め15名が参加しました。

取材の内容は① 教室での授業風景 ② 講師による授業の後、30分間のボランティアとのフリートーク ③ 学習者、ボランティアへのインタビューでした。

放送の冒頭は伊丹市同和・人権・平和課主任 堀香菜子さんがレポーターの質問に答えました。2023年8月時点で、伊丹市に住む外国人は51か国およそ3500人で、最近ではベトナム、インドネシア、ネパール、バングラデシュなど特にアジア圏からの人が増えているとのことでした。伊丹市が共催している伊丹ユネスコ日本語教室は、およそ40年間続いている歴史ある教室だとも紹介されました。

前の週から皆ワクワクドキドキしていましたが、撮影はスムーズに進みました。学習者は「先生たちが優しく、ここへ来てよかった」と感謝の気持ちを述べ、ボランティア講師は「学習者が日本語を少しずつでも上達し、説明を理解してくれた時に喜びが大きい」と、やりがいを語りました。

放送最後には、堀主任から外国人と話すときのやさしい日本語のコツが紹介されました。やさしい日本語とは「ゆっくり、はっきり話す」「簡単な日本語を使う」「言葉を短くする」「曖昧な表現は避けて具体的に伝える」「方言ではなく標準語で話す」などのことだと説明されました。

この番組はYou Tube「Itami City PR 伊丹市広報・シティプロモーション課」(右記の二次元コードより)でご覧いただけます。

